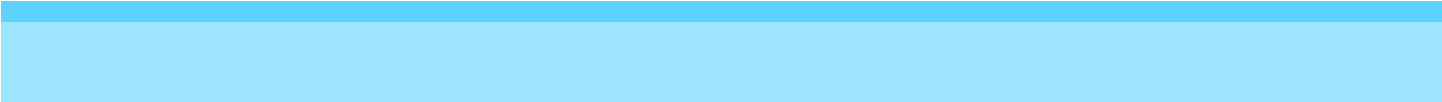


建設コンサルタンツ協会中部支部
女性の会WG

令和2年度活動報告書

令和3年3月

一般社団法人建設コンサルタンツ協会 中部支部



目 次

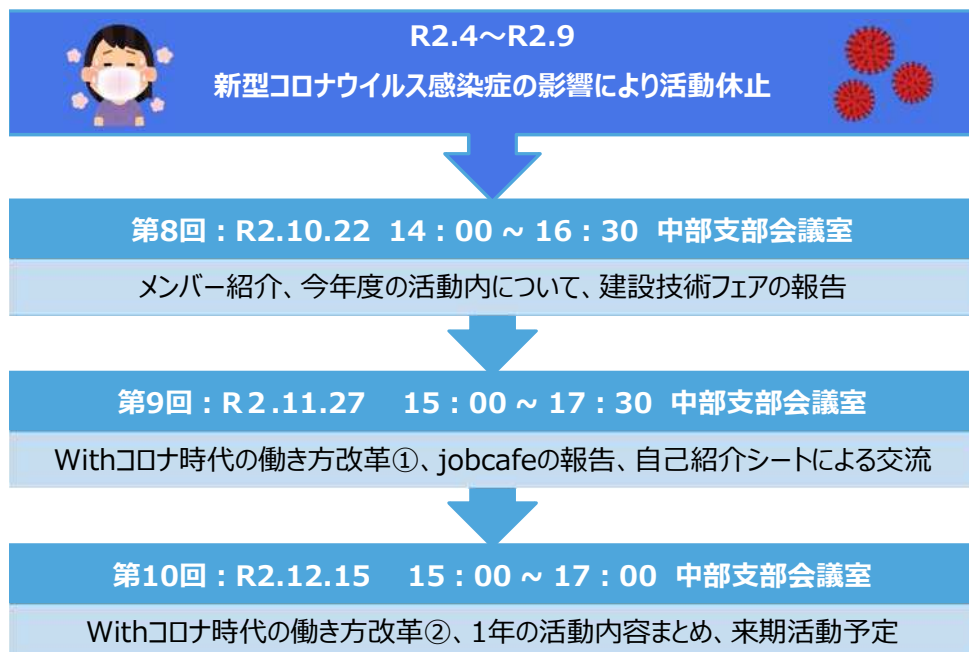
1. WG活動内容（第8回～第10回）	… P. 1
2. WG活動	… P. 2
● 建コン業界におけるWithコロナ時代の働き方改革について	
● 自己紹介シートによるメンバー内交流	
3. 対外活動	… P. 5
● 建設技術フェア	
● イブニングサロン	
● JOB Café	
4. 役員との意見交換会	… P. 7
5. 2年間の感想	… P. 8
6. 来期の活動へ向けて	… P. 9

1. 令和2年度 WG活動内容(第8回～第10回)



コロナウイルス感染症の影響により思うようにWG活動が出来ませんでしたが、限られた時間内で以下の活動を行いました。

【年間活動スケジュール】



2年間ありがとうございました!

外部での活動 ◆

R2.10.14-15 吹上ホール

建設技術フェアで学生にPR!

R2.11.17 椋山女学園大学

イブニングサロンで学生と交流

R2.11.21 名古屋駅近辺

jobcafeで学生と交流

R3.1.6 金山駅近辺

支部役員、若手の会と意見交換

【主な活動結果】

第8回WG R2.10.22

- ◆ 今年度加入メンバーの自己紹介や活動内容の確認をしました。
- ◆ 外部活動（建設技術フェア）の報告を行いました。

第9回WG R2.11.27

- ◆ Withコロナ時代の働き方改革に関する意見交換をしました。（各社の取組等、情報共有）
- ◆ 外部活動（jobcafe）の報告を行いました。
- ◆ 自己紹介シートによるメンバー内の交流を行いました。

第10回WG R2.12.15

- ◆ Withコロナ時代の働き方改革に関する意見交換をしました。（今後の働き方改革につなげるためには、...）
- ◆ 外部活動（イブニングサロン）の報告を行いました。
- ◆ 自己紹介シートによるメンバー内の交流を行いました。
- ◆ 令和2年度活動報告書作成の役割分担を行いました。



今年は、コロナ禍での活動だったため、WEB会議を活用しました



会議室では、部屋の喚起とマスク着用による感染対策をしています!

2.WG活動（建コン業界におけるWithコロナ時代の働き方改革について）

新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年5月に最初の緊急事態宣言が出されました。これをきっかけに、建コン業界においても『業務継続のためのテレワーク・リモートワーク』が一気に加速しました。

このような状況下で各社で導入されたツール、変化した仕事の進め方、テレワーク等を経験してみて見えてきた今の課題は？など、各々の会社の状況・対応等を情報共有し、各社へ持ち帰って生かすことを目的とし意見交換を行いました。

きっかけはコロナ禍でしたが、このピンチをチャンスに変えて働き方改革が進むことを期待します！



★コミュニケーションツール等
テレワーク環境の整備

★時差出勤・フレックス制度の導入



きっかけ

業務継続のための
テレワーク・
リモートワーク
の導入



現在

テレワーク・
リモートワークの
メリット・デメリット
（課題）の整理

これから

テレワーク・
リモートワーク
の活用

★時間の有効活用
★生産性の向上
★組織の多様化

★労働時間の正確な把握方法の模索
★作業環境向上のための設備投資への支援
★仕事と家事の両立（通勤時間の有効活用）

【意見交換の内容（まとめ）】

建コン業界における With コロナ時代の働き方改革について		
緊急事態宣言（きっかけ）	緊急事態宣言解除～現在	これから
業務継続のためのテレワーク導入	テレワークの メリットとデメリット（課題）	テレワーク・リモートワーク の活用
①業務を継続するための会社の対応 - 緊急事態宣言が出されたことをきっかけに在宅勤務が開始された。（当初の経験はほぼ無し） - 海外担当部署での経験を活かし、1週間以内に全社的にテレワーク環境が整った。 - 出社率が抑制された。（シフト制を導入し、出社する人を限定している。課の中で1人は出社するような対応をしていた。） - 感染者の状況が地域によって異なるため、支店ごとに対応が違った。 - 自宅近隣事務所での勤務（緊急事態宣言中） - フレックス制度・時差出勤制度が導入された。 - 会社のサーバにリモートアクセスできるようになった。 - 会社のパソコンを自宅に持ち帰って作業していた。 - 当初はUSBでデータを持ち帰っていたが、VPN接続ができるようになった。	メリット - 通勤時間が無くなり、仕事と家事の両立が楽になった。 - 子供との時間が増えた。 - 並行して家事ができる。 - 働きやすい服装で作業ができる。（化粧無しでもOK） - 時間と場所が限定されないため、各々の都合に合わせて仕事を進めることができる。 デメリット（課題） - 残業時間（正確な労働時間）のは空気が困難 → ログイン・ログアウトで労働時間を管理 → 在宅勤務中は基本、残業無し → 上司へ業務開始と終了を連絡（休憩時間等を配慮して自己申告制） - 社外から社内ネットワークにアクセスできないため、在宅勤務の環境が整うには時間がかかる。 - コミュニケーションツールが社内ですべて統一されていないため、管理者の評価が困難（ルールの明確化） - 自宅でのネットワーク環境に差がある。 - パソコンのデザリング容量が課題（CADや解析ソフト実行等）実施時の操作性、モニターが小さい。 - モニター購入資金援助やTV会議環境を整えるためのカメラ、マイク購入資金援助が必要。（椅子・机も？） - 図面、数量計算書等は紙を印刷してチェックをしないとミスを見逃してしまうため、在宅には向いていない。 - 書類の押印ができない（脱印鑑） - 指導が必要な新入社員の教育はリモートでは困難 - 作業環境等で効率が下がる。それを挽回しようとすると勤務時間外に作業をしてしまう。（時間と場所を選ばないためオン・オフの切り替えが難しい。）	現時点ではメリットよりデメリット（課題）のが多くある。また「時間と場所を選ばない」ことは、メリット・デメリットの両面が存在する。 今後は、できる限りメリットを活かし、建コン業界全体で「働きやすさ向上」に発展させていくことを目標とする。 そのためには・・・ ◆ 置かれる状況・立場によって働きやすい時間と場所が異なることを理解する。 ◆ 社員一人一人が各々の「違い」を理解したうえでそれを受け入れるとともに、サポートできる体制を確保する。 そうすると・・・ 時間の有効活用 ・ 打合せ等無い日かつ、家でも作業が可能（報告書作成等）な場合には、通勤時間の有効活用が図れる。 ・ 仕事と家事（育児・介護）の両立がしやすい。 ・ 会議の効率化（出張等移動時間の短縮）が図れる。 生産性の向上 ・ 電話等が頻繁に鳴らない等、静かな空間で、働きやすい服装環境を整えれば、集中力が高まり、生産性が向上する。 → 並行して自宅等の労働環境の整備への資金援助が必要である。 組織の多様化 ・ ダイバーシティマネジメントの導入ができる。 → 新規社員募集の際に条件が少なくなり、優秀な人員を確保することができる。
②社内でのコミュニケーション方法（部署内・上司） - 海外担当部署でのWeb会議ツールが社内に展開され活用している。 - 課内ミーティング（zoom、teams等のツールを活用）を実施し、作業スケジュール等を確認（工程会議の実施） - 関連する業務を担当している社員の出社日を同じとし、出社時に進捗状況等を確認していた。		
③客先とのコミュニケーション - Web会議ツールが整っている客先とはWeb会議を実施。そうでない客先とは変わらず対面会議。（ただし緊急事態宣言中は規制） - 会社で配布される個人用携帯を客先に教える。 - 会社で配布される個人用携帯はあるものの、客先に基本的には提示しない。（上記と相反する・・・）		
③その他（いろいろ） - 発注対応（図面作成（CAD））は在宅では作業できない。（効率が低下する。） - 社外から社内ネットワークにアクセスできないため、作業しづらかった。 - 派遣さんも含めて在宅勤務となった。 - 新規PC購入はノートPCを推奨している。 - コミュニケーションツールの活用（使用方法がわかるスペシャリストを育成？それを社内で展開することで活用が進んだ。） - テレワークに向いている作業もある。		

が、

- WGメンバー内の会社・仕事内容を知ること、同じ業界の異なる分野への興味を持つことができ、モチベーションアップにつながりました。
- 仕事内容の紹介に加え、各社の男女比率、作業着、制服の紹介、仕事に活かせる便利グッズやおしゃれ事情、楽しく働く工夫などを共有しました。

[illegible][illegible][illegible]

3. 対外活動（建設技術フェア・イブニングサロン）

【令和2年10月14～15日（水・木）建設技術フェアに参加！！】

建設分野の様々な会社が集まる「建設技術フェア2020in中部」が吹上ホール（名古屋市中小企業復興会館）にて開催されました。女性の会WGメンバーは「学生交流ひろば」に参加し、学生さんへの説明や質問対応等を行いました。

学生交流ひろばとは…？

土木・建築を学ぶ学生をはじめ、建設企業に興味のある学生の皆さんが、建設業界の第一線で活躍する先輩技術者に直接会って質問できるブースです。

◆主な質問内容◆

- ・行政、ゼネコン、コンサルの違いは？
- ・建設コンサルタントって何をする仕事？
- ・建設コンサルタント業界や今の会社に入った理由は？
- ・建設コンサルタントの仕事の魅力は？
- ・仕事は忙しい？残業はある？
- ・社内での女性の割合はどのくらい？
- ・育児休暇などの制度は整ってる？



若手の人材不足が課題となっている中、多くの大学生や高専生が積極的にブースに足を運んでいただき、とても充実した時間となりました。建設コンサルタント業界について関心のある学生は少なく感じましたが、説明に興味深く聞いていただき、多くの学生に業界について知ってもらうことが出来ました。学生にとっても将来を考える貴重な機会になったと思うので、是非建設コンサルタントを志望していただければと思います。

【令和2年11月17日（火）イブニングサロンに参加！！】

行政や建設企業、建設コンサルタントなどの建設分野に携わっている技術者と椋山女学園大学の学生とで「イブニングサロン」がWeb形式にて開催されました。女性の会WGメンバーも参加し、仕事内容や働き方の説明、学生たちの疑問などに答えました。

イブニングサロンとは…？

建設分野に携わっている技術者と、これから進路を決定する学生などが交流し、建設分野の実態や疑問、課題などを共有し、相互理解を深め、建設分野に対する魅力を発信するとともに、建設分野にかかわる若手人材の育成を行うことを目的とした活動です。

◆質問内容◆

- ・女性の割合ってどのくらい？
- ・専門分野を学んでないと就職は厳しい？
- ・行政、ゼネコン、コンサルの違いは？
- ・行政、ゼネコン、コンサルそれぞれの魅力、やりがい？
- ・仕事の中で1番大切なことは？
- ・働いてみて感じたギャップは？
- ・育児休暇などの制度と休みやすさは？



イブニングサロンの様子 @Web形式



今回開催されたイブニングサロンは、Web形式ということもあり、相互の意見交換というよりは、業界の説明が中心となりましたが、興味深く聞いていただき、業界への疑問やイメージを明確にできたと思います。

また、行政やゼネコンの働き方を知る貴重な経験となり、今後のワーキング活動に活かしていきます。

3. 対外活動（JOB Cafe）

【令和2年11月21日（土）JOB Cafeに参加！！】

中部若手の会主催の「JOB Cafe」に女性の会のメンバーも参加しました。当日は10名の学生さんに参加していただき、質問や会話を通じて、建設コンサルタントの仕事の魅力をお伝えできたのではないかと思います。

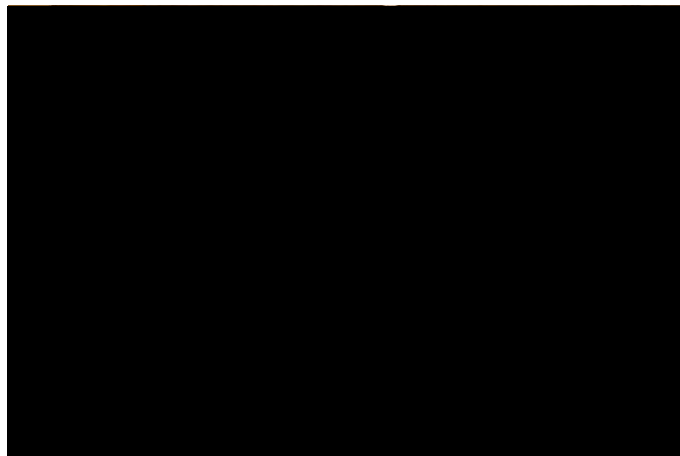
JOB Cafe とは…？

普段の生活の中で、建設コンサルタントの仕事や活躍の場を目にする機会はあまり多くなく、土木業界を志す上で、不安や疑問を抱える学生も少なくありません。

そこで、若手技術者が中心となって、説明会とは違い社会人も学生も私服で集まり、軽食を楽しみながら気軽に話せるイベントを企画しました。

《JOB Cafe プログラム》

- ① 建設コンサルタントとは？
- ② 建コン若手のある一日
- ③ 建コンに就職を決めた理由
/入社前後のギャップとやりがい
- ④ フリートーク・記念撮影



当日は、参加者の検温や店舗のテラスを解放し十分な換気を行うなど、万全な新型コロナウイルス感染予防対策のもと開催しました。コロナ禍での就職活動は、学生も企業も戸惑いの多いことと思います。そのような中で、今回イベントを開催できたことは、学生にとっても採用する側である社会人にとってもよい経験となりました。



◆主な質問内容◆

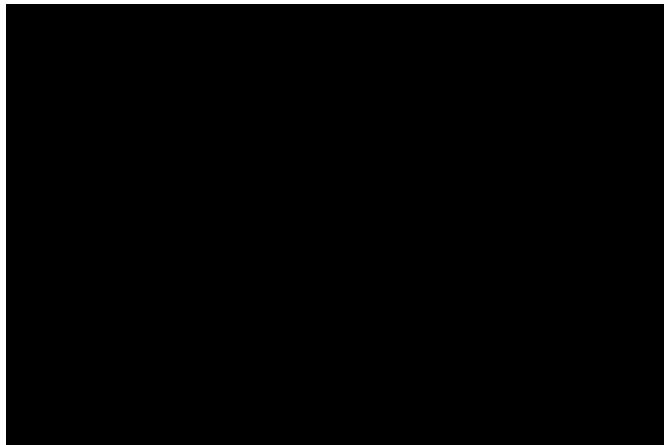
- ・建設コンサルタント業界を選んだ理由は？
- ・数ある会社の中で今の会社を選んだ理由は？
- ・仕事のやりがいや大変だったことは？
- ・勤務地は自由に選択できる？転勤は多い？
- ・コロナ禍での在宅勤務は快適？不便？
- ・女性社員はどのくらいいる？
- ・産休や育休から復帰した女性社員はいる？



就職活動の話題だけではなく、「就職と進学で迷っている」「研究室選んでどれくらい重要？」など、歳の近い若手だからこそ一緒になって考えたり、悩んだりできる話題も多くありました。またコロナ禍ということもあり、「オンライン授業ってどんな感じ？」など、社会人からの質問も飛び交い、社会人も新たな発見がありました。今後、オンライン〇〇が主流となるかもしれない中で、新しいツールの活用といった点では、社会人も見習いたいですね！

参加者の中には、女子学生の姿も…！

産休・育休の制度や実際の働き方などの質問が多く挙げられました。一緒に働ける日を楽しみにしています！



4. 役員との意見交換会

【令和3年1月6日（水） 建コン中部支部役員との意見交換会に参加】

建コン中部支部の役員と、若手の会との「意見交換会」に参加しました。平成29年度に女性の会WGが発足してから4年目になりますが、役員との直接的な交流はありませんでした。この機会に、これまでの活動報告や、直接意見交換ができたことにより、相互理解（意思疎通）の第1歩を踏み出したように思います！

今後も定期的実施されるとのことなので、女性の会WGの活動への理解や支援が一層進むことを期待します！！



意見交換会の様子
@ANAクラウンホテル

【意見交換会の概要】

- ◆日 時：令和3年1月6日（水）
15：00～17：00
- ◆場 所：ANAクラウンプラザホテル 5F ローズルーム
- ◆参加者：役員8名、若手の会3名、女性の会4名
事務局2名
- ◆意見交換会次第
 - ①意見交換会の主旨説明
 - ②意見交換会の実施要項
 - ③若手の会WG、女性の会WGの活動報告
 - ④支部活動のトピックス説明
 - ⑤来年度以降の活動に向けた提案・意見交換



【来年度以降のWG活動に向けた提案・意見交換の主な内容】

◆ 役員から若手の会・女性の会へ

- ・ 若手の会、女性の会の活動の実施結果や協会内で共有すべき事項がある場合は、来年度以降の意見交換会等で報告していただきたい。
- ・ 任期は1期2年となっているが、2年で活動の成果を上げることは困難であることから、少なくとも2期4年は継続していただきたい。（20代後半から30代前半で2期4年できればよいと考える。）
- ・ 建コン業界や会社に魅力が感じられず、転職先に魅力があると判断された結果が他業種への転職である。建コン業界を魅力ある業界にしていきたいし、その魅力を発信できるようにしたい。
- ・ 建コン業界を魅力あるものとするための提案や要望を若手の会、女性の会のWGの活動を通して発信してほしい。『これから』を担う若手・女性の皆さんの意見が重要であるため、意見交換会等の場で情報共有していきたい。



◆ 若手の会・女性の会から役員へ

- ・ 对学生など対外的な活動も多くあるため、本部や他支部の若手の会との交流などに積極的に参加できる人材を選任していただきたい。
- ・ 任期は1期2年となっており、基本は2年で交替することを考えている。（他の社員にもWG活動を通じた横の繋がりを持ってほしい。）
- ・ 建コン業界に魅力があれば、退職しても同業他社への転職で業界内に留まる可能性もある。
- ・ 同年代の横の繋がりを増やすことで、刺激を受けてモチベーションの向上を図ることもできる。若手の会、女性の会ともに今後も交流会等を企画し、横の繋がりを増やしていく。



これまでの活動報告の様子（若手の会・女性の会）



5. 2年間の感想

2年間の活動を終えた感想です！

WGの活動を通じて新たな出会いがあり、貴重な経験をさせてもらえました。そして、皆さんと「横の繋がり」ができたことに感謝します。

ありがとうございました。

所

今年度は、コロナ禍での活動となったため、WEB会議等新たな活動方法を開拓した1年だったように感じます。皆様と交流した2年間はとても貴重な時間でした。

ありがとうございました。

井上

2年間、本当にありがとうございました。各社の女性技術者の方々と交流することができ、自分自身とても勉強になりました。今後とも色々とお話が出来ればと思います。

櫻井

今年度は思うように活動が出来ずとても残念でしたが、2年間とても充実した交流ができました。このようなWGに参加でき本当によかったです。ありがとうございました。

日比野

社外で女性技術者との繋がりを持てる、大変有意義な活動と思っていたため、1年未満しか携われなかったことを大変残念に感じています。また機会がありましたら、その時はよろしくお願いいたします。

コロナ禍で活動が制限される中、WEB会議での開催など、新たな試みもあり、有意義なWGになったと思います。会社の垣根を超えた繋がりができて嬉しかったです。

2年間ありがとうございました。

近藤

2年目はコロナ禍で思うような活動ができずにいましたが、久々に活動したときは、皆さまお元気そうな様子でとても安心しました！他社さんとの交流は貴重で、とても有意義な時間でした。2年間ありがとうございました。

今年の活動は思うようにできずとても残念でしたが、女性技術者との交流は、働き方を考えられるとても有意義な時間でした！2年間ありがとうございました。今後も女性の会の活動が盛り上がっていきますように…

宮田

テレワークに関する悩みを女性技術者目線で意見交換や共有ができ、良い刺激になりました。建コンがより多くの方にとって働きやすい環境にしていきたいです。

本間

WG発足時から4年間の活動期間でしたが、メンバーみんなで協力しながら本当にたくさんの貴重な経験をすることができました。皆さん、ありがとうございました！

コロナで活動が滞ったのは残念でした…。ですが、コロナ禍だからこそ、各社のノウハウ共有など、WG活動をより意義あるものにできるのではないかと思います。これからもよろしくお願いします。

本田

皆様との交流が楽しみでしたが、コロナ禍の県境の壁は越えがたく、残念でした。しかし、WEB会議でお話できてとても参考になりました。これからもよろしくお願いします。

伊藤

前任者と交代したばかりで活動にあまり参加できず、非常に残念です。こうした活動・交流を通して、女性技術者が増えることを願っております。

6. 来期の活動に向けて

今期に実施する計画していた内容のうち、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったこと、今年度のWGで出た意見を踏まえ、来期の活動として提言します。

その1 第2回女性技術交流会の開催

「第2回女性技術者交流会」の開催を企画し、中部圏の建設コンサルタント業界で働く女性技術者同士が各企業の枠を超えて交流できる場を創出することで、自社、各自が抱える課題や悩みに対する解決の糸口になればと思います。また、他団体の女性の会とも交流できればと思います。



その2 女性が長く働き続けることができる環境をつくるための勉強会の実施



働きたい気持ちがあるのに退職せざるを得ない状況にならないようにするにはどうすればよいか、建設コンサルタント業界での取り組み状況、他業界での取り組み状況等を学び、情報を共有することで業界全体が「長く働き続けることができる環境」になっていけるようWGで勉強会を行います。

その3 女性の会WGのリーフレットの作成

建コン中部「女性の会」がどのような活動をしているか等を学生等へ説明できるリーフレットを作成し、「建コン業界の魅力発信」に寄与できればと思います。



これからも女性の会WGを無理なく楽しい活動にしていきます！